

# 平成28年度関東倶楽部対抗長野会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 22倶楽部 ・ 132名)

期日：5月26日(木)

場所：長野国際カントリークラブ 黒姫・城山コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(黒姫コース)よりスタート

## Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	丸田 泰	信濃	和田 博次	上田菅平高原グランヴィリオ	丸山 義幸	佐久春日野		
2	7:39	赤池 良二	千曲高原	西澤 健司	穂高	岡原 庸雄	松本		
3	7:48	窪田 一幸	中央道晴ヶ峰	小山 登志憲	大浅間	井出 啓男	サニー	松山 隆	長野
4	7:57	原 和明	長野国際	今井 博之	立科	丸山 悦二郎	望月東急	中村 隆男	諏訪レイクヒル
5	8:06	小林 宣章	あづみ野	小林 久一	望月	野澤 文治	塩嶺	村松 良男	南長野
6	8:15	山本 勝三	豊科	米山 政幸	松本浅間	山田 修一	川中嶋	佐藤 和久	上田丸子グランヴィリオ
7	8:24	横澤 和生	穂高	依田 今朝夫	佐久春日野	佐藤 隆男	信濃	高橋 久美	中央道晴ヶ峰
8	8:33	箕輪 康男	サニー	加藤 元次	長野国際	西入 悦雄	望月東急	岩原 厚史	あづみ野
9	8:42	塩原 研治	塩嶺	奥原 伸吾	豊科	丸山 浩	川中嶋	松本 直士	上田菅平高原グランヴィリオ
10	8:51	窪田 至	千曲高原	百瀬 記行	松本	西澤 啓	大浅間	黒岩 護	長野
11	9:00	森沢 雄次	立科	藤澤 薫	諏訪レイクヒル	横山 五郎	望月	湯澤 昭二	南長野
12	9:09	藤巻 好實	松本浅間	村田 稔	上田丸子グランヴィリオ	北村 慶一	信濃	湯原 正也	千曲高原
13	9:18	向山 光	中央道晴ヶ峰	篠原 力	長野	千野 忠良	望月東急	山下 政宏	望月
14	9:27	水落 昭一	上田菅平高原グランヴィリオ	中山 敏夫	上田丸子グランヴィリオ	小林 博司	豊科	勝家 哲夫	穂高
15	9:36	池田 忠明	大浅間	土田 彰一	長野国際	有賀 修一	諏訪レイクヒル	渡部 千秋	塩嶺
16	9:45	森泉 哲夫	佐久春日野	田中 秀享	松本浅間	伊藤 謙二	松本	寺尾 藤則	サニー
17	9:54	川合 文男	立科	原田 英男	あづみ野	高山 源市	南長野	鶴見 章	川中嶋

10番(城山コース)よりスタート

## Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
18	7:30	藤澤 浩志	信濃	白石 栄治	穂高	小林 一三	サニー		
19	7:39	依田 雅秀	望月東急	宮島 一馬	塩嶺	富田 茂雄	川中嶋		
20	7:48	加藤 孝一	上田菅平高原グランヴィリオ	宮下 昌俊	松本	伊藤 雅章	長野	倉科 一則	諏訪レイクヒル
21	7:57	竹花 正	南長野	清水 敦夫	上田丸子グランヴィリオ	山口 貴広	佐久春日野	小池 康成	中央道晴ヶ峰
22	8:06	島袋 昌源	長野国際	松元 昌史	あづみ野	大原 一成	豊科	中澤 俊一	千曲高原
23	8:15	野崎 寿之	大浅間	吉越 修	立科	東方 貴之	望月	中山 芳秀	松本浅間
24	8:24	片瀬 博幸	松本	成田 寿郎	信濃	加藤 大太郎	長野国際	笹井 明信	望月
25	8:33	戸谷 彰文	川中嶋	原田 守也	上田菅平高原グランヴィリオ	牛山 龍八	中央道晴ヶ峰	田中 孝幸	立科
26	8:42	翠川 雅人	上田丸子グランヴィリオ	続木 良博	塩嶺	比田井 真人	佐久春日野	毛利 栄希	大浅間
27	8:51	柳沢 義直	望月東急	日向 敬治	南長野	坂井 誠	千曲高原	樋口 和真	サニー
28	9:00	鮎沢 一輝	諏訪レイクヒル	内山 敬司	豊科	伊藤 啓二	穂高	篠塚 真一	長野
29	9:09	江本 日東	松本浅間	森村 光二	あづみ野	朝場 健至	信濃	前島 幸輔	中央道晴ヶ峰
30	9:18	稲田 裕行	豊科	森角 聡	望月東急	津端 正廣	上田菅平高原グランヴィリオ	小金澤 稔	大浅間
31	9:27	小宮山 健司	諏訪レイクヒル	増田 博	松本浅間	山浦 雅彦	佐久春日野	春原 正典	サニー
32	9:36	川澄 豊	あづみ野	渡辺 勝信	川中嶋	中村 崇宏	千曲高原	広田 文雄	長野
33	9:45	本田 彰宏	望月	一之瀬 方賛	上田丸子グランヴィリオ	柏原 弘信	穂高	井田 勇太	長野国際
34	9:54	矢下 博之	塩嶺	横戸 祐司	松本	宮下 淳志	立科	滝澤 直幸	南長野

競技委員長 大橋正明

# 平成 28 年度 関東倶楽部対抗長野会場予選競技

開催日：5月26日(木)

開催コース：長野国際カントリークラブ 黒姫・城山コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2打」とする。

## ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)  
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)  
ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)  
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。  
(a)パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。  
(b)4番ホール右側のナセリはプレー禁止の修理地とする。  
(c)7番ホールウォーターハザード内にある橋とカート道路はプレー禁止の修理地とする。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)  
(a)排水溝  
(b)人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)  
(c)動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)  
(d)黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
5. コースと不可分の部分  
ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. 電磁誘導カート用の 2 本のレール  
電磁誘導カート用の 2 本のレールは全幅をもってプレー禁止の修理地とする
7. 防球ネット  
防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
8. 指定ドロップ区域  
(a)7番ホールグリーン前のウォーターハザードに球が入った場合、プレーヤーは1罰打付加し、指定ドロップ区域に球をドロップすることができる(付属規則 I (A)6を適用する。ゴルフ規則 173 ページ参照)。  
(b)9番ホールにおいて球がグリーン左側の防球ネットに近接しているために、スタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、プレーヤーは罰なしに、その球に最も近い指定ドロップ区域にその球をドロップすることができる。

## 距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	469	165	299	417	347	547	353	190	392	3179
BクラスYards	495	174	320	432	367	558	360	202	420	3328
Par	5	3	4	4	4	5	4	3	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
390	159	466	387	397	440	254	328	175	2996	6175
404	172	466	428	397	456	254	328	190	3095	6423
4	3	5	4	4	5	4	4	3	36	72

## 競技の条件

### 1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

### 2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

### 3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

### 4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

### 5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

### 6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

### 7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

### 8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

### 9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

## 注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 6 コイン(180 球)を限度とする。

競技委員長 大橋正明